

# 【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2023年度)

施策コード	48
-------	----

まちづくりの方針	4 交通・都市基盤・水環境
施策	8 下水道
施策のめざす姿	下水道の整備が進み、水路や側溝が清潔に保たれ、市民は快適に生活しています。

まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
下水道普及率(%)【上下水道部】	42.2	42.8	43.5				45.0	48.0
汚水処理人口普及率(%)【上下水道部】	77.7	79.1	79.7				85.0	90.0

施策の方針	担当課	実績・成果
		今後の方向
1 汚水処理施設等の整備	上下水道部 生活環境課	下水道への接続や単独処理浄化槽の適正な維持管理など、啓発活動を実施した。 早期概成に向け整備を拡大し、未普及を解消していく。
2 効率的な施設管理	上下水道部	施設統合を視野に入れ、適正な維持管理に努めた。 設備等の耐用年数超過に優先順位をつけ、計画的な修繕が必要。
3 水環境の保全意識の啓発【重点】	上下水道部	接続率向上のため、計画的に啓発訪問活動を行った。 単独処理浄化槽住宅や共同住宅オーナーへの訪問活動を積極的に行う必要がある。
4 健全な事業運営	上下水道部	水道ビジョンの見直しに伴い、経営戦略の見直しを行う。 また、下水道事業経営戦略を策定し、公表した。 料金徴収状況、施設の老朽化、今後の整備見通しなどを把握し、類似団体との比較分析を通じて、経営状況の分析、検証を行う。

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	下水道は、日常生活から排出される汚水を適正に処理する役割があり、公共用水域の汚濁防止に大きく寄与するところである。 流域関連公共下水道における早期概成のための下水道未整備区域の整備や単独公共下水道における既設下水管の長寿命化対策等、計画的に進捗している。	評価
	施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	今後においては、(流関)下水道の早期概成に向け、計画的に整備を行う必要がある。 また、(単公)既設下水管の適正な維持管理や、施設統合を見据えた検証が必要である。 また、下水道普及促進事業(啓発活動)においても、単独処理浄化槽住宅、共同住宅オーナーや大口顧客への訪問活動を積極的に行う必要がある。	方針 継続